平成 20 年 6 月 1 日
第 13 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

全員協力 水路の泥上げ



用水路の樋門の部分にも大量の土砂が堆積していた

5月25日、水路清掃が行われました。小郡地域全域で水の季節を前に水路に溜まった土砂などを取り除く「一斉清掃作業」の一環です。各地区ごとにそれぞれの計画に従い行われましたが、25日は最も多くの地区が実施した模様です。

作業は例年と同じ内容ですが、引き上げた土砂の運搬について、市の衛生課の協力が変更になりました。

作業前日からかなりの雨が降ったために水路は例年にない水かさになりました。土砂の重さに水がのしかかり、作業はどの部分も大変でした。下流側の作業では長靴の上からも水が入るほどの深さになり、ずぶぬれの作業になりました。

農道の下をくぐる暗渠（トンネル）部分は中に入れないので、特製の長い柄のついた道具で土砂を掻き出しました。集めた土砂は缶に入れてロープで引き上げます。重労働ですが全員の協力で、予想以上に早く終えることができました。きれいになった水路で安心して梅雨が迎えられます。



水を含んだ土砂は素早い操作が必要

予算と事業計画を承認

八方原の環境を守る会は5月15日に総会を開催しました。ほぼ全員の出席を頂き、平成19年度の決算や事業報告などの承認を頂きました。また、昨年度とほぼ同額の本年度の予算と事業計画についても満場一致のご賛同を賜わりました。

本年も昨年度ほぼ同様の事業を行い、環境向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援、ご協力をお願いいたします。

平成 19 年度　八方原の環境を守る会決算書

収入		支出	
金額	摘要	摘要	金額
1036320	交付金	協働活動日当	265426
210	預金利息	機械経費	107725
		物材費	265581
		委託料	94300
		役員報酬	110000
		事務費	120850
		その他	72648
1036530	合計		1036530

家庭ふれあい野菜畑



立派に育ったタマネギを手に会話も弾む

原田英樹さんの農地の一区画は現在、野菜づくりなどを楽しむ家庭農園として小さな区画に分けて貸し出しておられます。

地区外の人で野菜づくりに興味はあるものの場所や機会を見つけられなかった人々に喜ばれています。現在20人が野菜づくりを楽しんでいます。

畑には30種類以上の野菜や花が植えられており、毎週30人近い人がそれぞれの畑の世話にやってきます。畑づくりのベテランから新人まで和気あいあいの野菜づくりです。

小郡スポーツフェスティバル「大運動会」
奮戦、熱闘八方原チーム



猛ダッシュは公民館長夫人片山さん、頑張れ

5月18日、小郡地区大運動会が行われましたが、全体では30チームの参加と町民運動会時代に比べると若干寂しくなりました。しかし、熱戦が始まればいつもの戦い八方原の各選手は多くの競技に参加、奮闘しました。

最初の得点競技「すみませんでした」はじゃんけんの結果が勝敗の決め手になります。幸先良く2位でゴールしました。アベックトリムリレーは男女のペアが二人三脚状態でサッカーボールをドリブルするゲーム、「ロケット打ち上げ」は板で出来た発射台で男性がボールを打ち上げ、相方の女性に捕球してもらうゲームです。

いずれも、運不運が勝敗に大きな影響をします。残念ながら良い結果とはなりませんでしたが、懸命にプレーし大きな拍手を浴びました。

男子のムカデ競走は期待されましたが、前半、ペースがなかなか上がりませんでした。最後のコーナーを回った最終盤に本来のダッシュ。しかし時既に遅し。無念の5位に終わりました。

最終的には9ポイントの獲得でした。勝っても負けても一生懸命やったチームはみんな一緒の入賞者。体育部長の菊本弘志さんや副部長の原田美佐子さんのお世話で一日中楽しむことができました。お疲れさまでした。



ゴール前の猛追で、順位を上げたかに見えましたが判定は「5位」、大健闘に拍手

ふれあい朝市 10周年記念



記念のエコバッグはネット付き

ふれあい朝市が10年を迎え、記念の行事として来場者にエコバッグをプレゼントしました。

5月24日の朝はあいにくの雨模様でしたが、開始前から80人以上の来場がありました。

防災への備え怠りなく

5月11日、八方原消防組は、風水害に備えて土嚢づくりを行いました。

80袋の土嚢は、地区の必要力所に置かれ、緊急の際に備えます。

その後の器具点検では、ホースなどの配備の確認と消火栓の点検を行いました。



市の終末処理場で土嚢を作成